

# 第6回九州大学ディベートクラブカップ(QDC杯) 大会要項

## 主催

九州大学言語文化研究院 全国教室ディベート連盟九州支部 QDC杯実行委員会

## 目的

ディベートを通じて議論の手法を学び、公平・公正な議論を尊ぶ心を養うこと。

ディベートの実戦経験の場を提供することで、九州地区の学生のスキルの向上を図ること。

普段は対戦することのない、年齢差の大きい相手とのディベートを通じて、多くの学びを得ること。

## 開催期日・会場

2017年11月19日(日) 九州大学大橋地区(福岡市南区)5号館

※西鉄電車大橋駅、西鉄バス「西鉄大橋駅」から徒歩約5分

## 論題

「日本は難民認定の基準を大幅に緩和すべきである」

\*「難民」の定義は、1967年に発効した「難民の地位に関する議定書」に従うものとする。

## 大会ルール

ディベート甲子園高校フォーマットに準拠。

別添「九州大学ディベートクラブカップルール」(2015年8月18日改定)を熟読の上参加のこと。

## 日程

8:30	受付開始	13:30	一次予選結果発表、昼食
9:00	開会式、抽選	14:20	二次予選
9:30	一次予選第一試合	15:40	予選結果発表、決勝戦
10:50	一次予選第二試合	17:00	閉会式
12:10	一次予選第三試合	17:30	までに撤収

## 対戦方法と順位の設定

各チームは一次予選2試合を戦い、上位チームで更に二次予選1試合を行う(二次予選に進出するチームの数は、出場チーム数確定後に決定する)。予選の通算成績上位2チームで決勝戦を行う。

予選の順位は、第1に勝利数、第2に得票数、第3に直接対決の勝敗を基準として決定する。同順位のチームがある場合には、抽選等の公平な手段により順位を決定する。

## 出場チーム数

最大15チーム

## 参加条件

- 1) チームは2~8名で構成する。メンバーの所属(学校等)が同一である必要はない。
- 2) 1試合に出場する人数は2~4名だが、試合毎のメンバー交代は認められる。また、登録されたすべての選手が予選のいずれかの試合に必ず出場するものとする。
- 3) 参加チームは、自らの出場する試合がない時間帯に、他の試合の審判(副審)を担当することがある。
- 4) 上記1~3の条件を満たすことが困難なチームは、申込時にその旨及び理由を併記すること。出場可否は主催者が判断する。
- 5) 高校生以下のチームは【立論6分・質疑3分・反駁4分】、大学生以上を含むチームは【立論4分・質疑2分・反駁3分】で行うものとする。

## 審判

選手が予選の審判を務める場合、審判担当の選手4名が副審、大会審判団の審判1名が主審となる。

副審票を1票とし、主審は「5-副審数」の票数を持つ(※)。決勝戦はオーディエンスポート方式。

※審判担当チームの総員が4名未満の場合のみ、副審が4名未満となることを認める。

## 参加申込

### 1) 申込方法

必要事項を記入済の参加申込書を電子メールにて送付。電子メールが不可の場合、郵送・FAXでも可。

受付期間 平成29年10月31日(火)まで(必着)

〒860-0025 熊本県熊本市中央区紺屋町1-1-1 東雲ビル1F クランポンスクール気付

第6回QDC杯事務局 [nade-q@fl.main.jp](mailto:nade-q@fl.main.jp) Tel:096-247-6122 Fax:096-352-4751

### 2) 応募多数の場合

同一の団体から複数の申込があった場合、チーム数の削減を依頼することがある。それでも受け入れ可能数を超過する場合、中高生を優先し、大学生以上のチームに出場辞退もしくは他チームとの連合を依頼することがある。それでも超過する場合、先着順に参加チームを決定する。

(チーム数削減の依頼や、出場不可の連絡は、11月5日(日)までに行う。)

## 大会参加登録料

1チーム 3,000円 (大会当日に徴収し、領収書を発行する)

## 予選の副審について

試合の講評等は全て大会審判団が行う。大会出場者が務める副審は、勝敗の投票のみを行うが、判定室において、主審が投票理由の説明を求めることがある。審判として判定を出すことは、ディベート技術の向上にも寄与するため、大会ルールを熟読の上、意欲的に参加すること。なお、審判に入る試合と、出場する試合が、同時に行われることはないため、出場選手と別に審判担当者を用意する必要はない。

## 昼食について

会場近くにコンビニ等有。但し、**昼休みに一次予選結果を発表するため、昼食の持参を推奨する。**